2023　年度 授業計画(シラバス)

学　　科	臨床工学技士科(夜間部)		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	国際臨床工学概論		必修/選択の別	選択必修	授業時数(単位数)	30　(2)　時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時限	前期	教室名	
担 当 教 員	澤田　正二	実務経験とその関連資格	臨床工学技士として28年西陣病院に勤務し、臨床工学科科長として、血液浄化、呼吸、医療機器管理、手術室業務に従事した他、医療安全管理室において医療機器安全管理責任者を兼務。認定医療機器管理臨床工学技士、透析技術認定師。			

《授業科目における学習内容》

上海中医薬大学における人体解剖学実習および病院見学

《成績評価の方法と基準》

1. 定期試験
2. レポート:70%
3. グループワーク中の態度・発表
4. 出席ならびに参加度:30%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

解剖学テキスト, 解剖学実習帳

《授業外における学習方法》

解剖学図書の多くは、学生の理解を促すため模式図が多用されるが、模式図だけで分かった気持ちにならず、かならずどの部位に対応するかについて、その都度アトラス(種類は問わない)などで確認することが重要となるため、教科書だけでなく、多くの参考資料を確認して理解を深めることが必要となる。また終了後にはレポートの作成が必要となる。

《履修に当たっての留意点》

解剖学実習で、通常の講義やテキストだけでは学べない、ヒトの身体の立体的な構造を学んでほしいと思います。特に腹膜後器官や関節内靭帯, 心膜や腕神経叢など、テキストでわかりにくいが臨床的にも重要となる部位については、必ず確認してきて欲しいと思います。中国医学研修の主たる目的は、人体解剖学実習ですが、病院見学では文化の違いによる医療機関の違いや、多彩な診断方法を知り、交歓会ではグローカルな視野を養うために、積極的に交流を深めて下さい。

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	解剖実習に使用する器具を正しく取り扱うことができるようになる。	目でみるからだのメカニズム	実習の終了した部位に応じたレポートを作成する。
		各コマにおける授業予定	解剖実習の心得と実習に使用する器具の説明		
第2回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	前胸壁・腋窩の筋および神経, 血管の位置関係や走行が理解できるようになる。	目でみるからだのメカニズム	実習の終了した部位に応じたレポートを作成する。
		各コマにおける授業予定	前胸壁・腋窩の筋および神経, 血管の剖出		
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	上肢前面の筋および神経, 血管の位置関係や走行を理解する。	目でみるからだのメカニズム	実習の終了した部位に応じたレポートを作成する。
		各コマにおける授業予定	上肢前面の筋および神経, 血管の剖出		
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	前胸壁から上肢の解剖学的位置関係を理解する。	目でみるからだのメカニズム	実習の終了した部位に応じたレポートを作成する。
		各コマにおける授業予定	前胸壁から上肢の確認		
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	下肢前面の筋および神経, 血管の走行や位置関係を理解する。	目でみるからだのメカニズム	実習の終了した部位に応じたレポートを作成する。
		各コマにおける授業予定	下肢前面の筋および神経, 血管の剖出		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	頚部の筋および血管の走行や位置関係を理解する。	目でみるからだのメカニズム	実習の終了した部位に応じたレポートを作成する。
		各コマにおける授業予定	頚部の筋および神経，血管の剖出		
第7回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	後頭部・背部の筋および神経，血管の走行や位置関係を理解する。	目でみるからだのメカニズム	実習の終了した部位に応じたレポートを作成する。
		各コマにおける授業予定	後頭部・背部の筋および神経，血管の剖出		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	下肢前面から下肢後面の位置関係を理解する。	目でみるからだのメカニズム	実習の終了した部位に応じたレポートを作成する。
		各コマにおける授業予定	下肢前面～背部の筋および神経，血管の剖出		
第9回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	上肢後面の筋および神経，血管の走行や位置関係を理解する。	目でみるからだのメカニズム	実習の終了した部位に応じたレポートを作成する。
		各コマにおける授業予定	上肢後面の筋および神経，血管の剖出		
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	下肢後面の筋および神経，血管の走行や位置関係を理解する。	目でみるからだのメカニズム	実習の終了した部位に応じたレポートを作成する。
		各コマにおける授業予定	下肢後面の筋および神経，血管の剖出		
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	下肢前面から下肢後面の解剖学的位置関係を理解する。	目でみるからだのメカニズム	実習の終了した部位に応じたレポートを作成する。
		各コマにおける授業予定	下肢前面から下肢後面の確認		
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	6大関節の解剖学的構造を理解する。	目でみるからだのメカニズム	実習の終了した部位に応じたレポートを作成する。
		各コマにおける授業予定	6大関節の確認		
第13回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	胸壁・腹壁の内臓器官の解剖学的構造を理解する。	目でみるからだのメカニズム	実習の終了した部位に応じたレポートを作成する。
		各コマにおける授業予定	胸壁・腹壁の内臓器官の剖出		
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	脊髄・脳の解剖学的構造を理解する。	目でみるからだのメカニズム	実習の終了した部位に応じたレポートを作成する。
		各コマにおける授業予定	脊髄・脳の剖出と確認		
第15回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	病院見学を行い、海外の医療情勢を理解する。	目でみるからだのメカニズム	実習の終了した部位に応じたレポートを作成する。
		各コマにおける授業予定	病院見学		